2018年度 第3四半期決算　説明資料

2019年1月30日

東邦ガス株式会社

目　　次

1．2018年度第3四半期決算の概要・・・・・・・ 3

2．2018年度の通期見通し・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

＜参考＞中期経営計画目標の進捗・・・・・・・・・15

本資料における業績予想及び将来の予測に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、さまざまな要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

1．2018年度第3四半期決算の概要
（1）まとめ

- ガス販売量は2，738百万㎥、対前年4．1％減

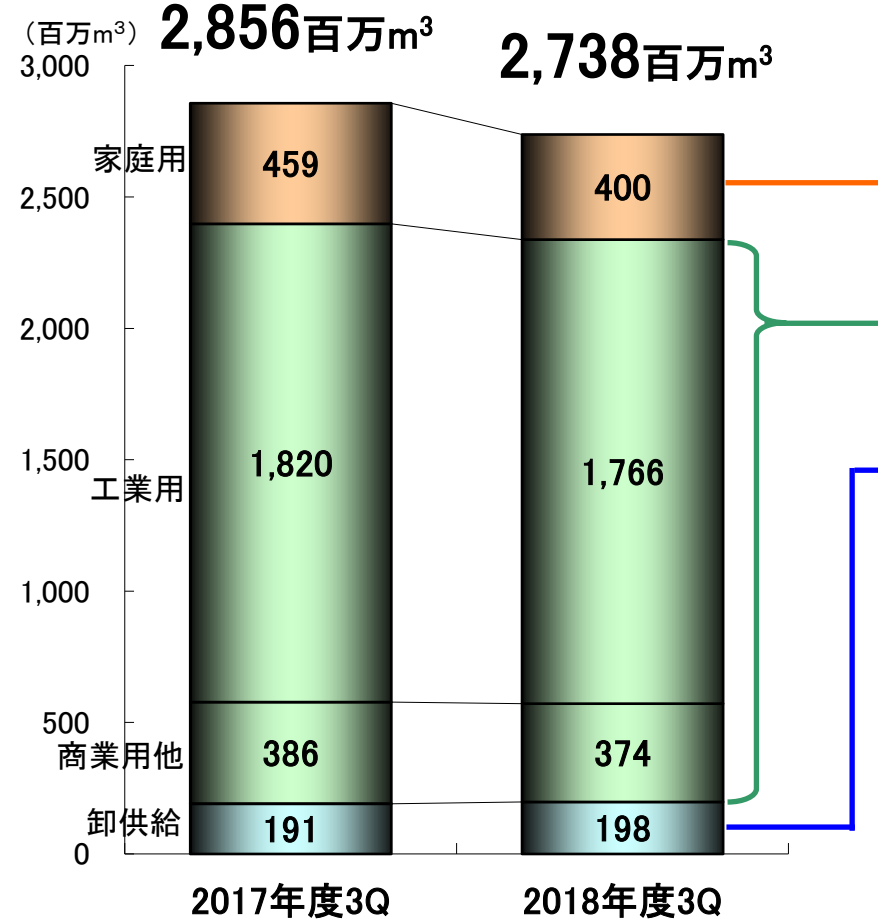
  LPG販売量は317千トン、同2．8％減

- 売上高は3，173億円、対前年6．6％増

  経常利益は62億円、同61．8 ％減

（2）お客さま数・販売量（第3四半期）

取付メーター数 2,455千件 → 2,477千件（＋0.9%）



平均気温	19.2℃	20.3℃	＋1.1℃

都市ガス　△118百万m³（△ 4．1%）

家庭用　△59百万m³（△12．9%）
気温影響などにより減少

業務用　△65百万m³（△ 3．0%）
お客さま先の個別要因などにより減少

卸供給　＋ 6百万m³（＋ 3．3%）

ＬＰＧ

お客さま数 ※ 496千件：＋7千件（＋1.5%）
※ 配送受託件数含む

販売量 317千トン：△9千トン（△2.8%）

電気

お客さま数 177千件：＋139千件

（注）平均気温 2018年度（対前年）：上期 23.7℃(+0.8℃)、10月18.9℃(+1.0℃)、11月13.8℃(+2.3℃)、12月8.1℃(+2.4℃)

(3)収支状況(第3四半期)

単位:億円

	2018年度(3Q)	2017年度(3Q)	増減	増減率
ガス販売量(百万m³)	2,738	2,856	△ 118	△ 4.1%
売上高	3,173	2,976	197	6.6%
売上原価	2,203	1,898	304	16.0%
供給販売費 一般管理費	936	939	△ 2	△ 0.3%
経常利益	62	162	△ 100	△61.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	41	116	△ 74	△64.0%

(注) 原油価格(全日本CIF):2018年度(4-12月) 75.1ドル/バレル、2017年度(4-12月) 53.9 ドル/バレル (21.2ドル高)
為替レート(TTM) :2018年度(4-12月) 111.2 円/ドル、 2017年度(4-12月) 111.7 円/ドル (0.5 円高)

(4)経常利益 増減要因(第3四半期)

◆対前年同期

経常利益(162億円⇒62億円)　△ 100億円

- ガス販売量の影響　△ 40億円
- スライドタイムラグの影響　△ 80億円

(2017年度3Q△25億円 ⇒ 2018年度3Q△105億円)

- 固定費の減少等の影響　＋ 19億円

(5)財政状況(第3四半期)

単位:億円

	2018年度(3Q末)	2017年度(期末)	増減
総資産	5,415	5,410	4
(投資有価証券評価益)	(466)	(573)	(△107)
純資産	3,171	3,262	△ 91
自己資本比率	58.6%	60.3%	△1.7ポイント
有利子負債	1,364	1,121	242

	2018年度(3Q)	2017年度(3Q)	増減
設備投資額	217	290	△72
減価償却費	267	271	△ 3

2. 2018年度の通期見通し
(1)まとめ

- ガス販売量は前回見通しから変更し、対前年3．1%減の3，900百万㎥を見込む

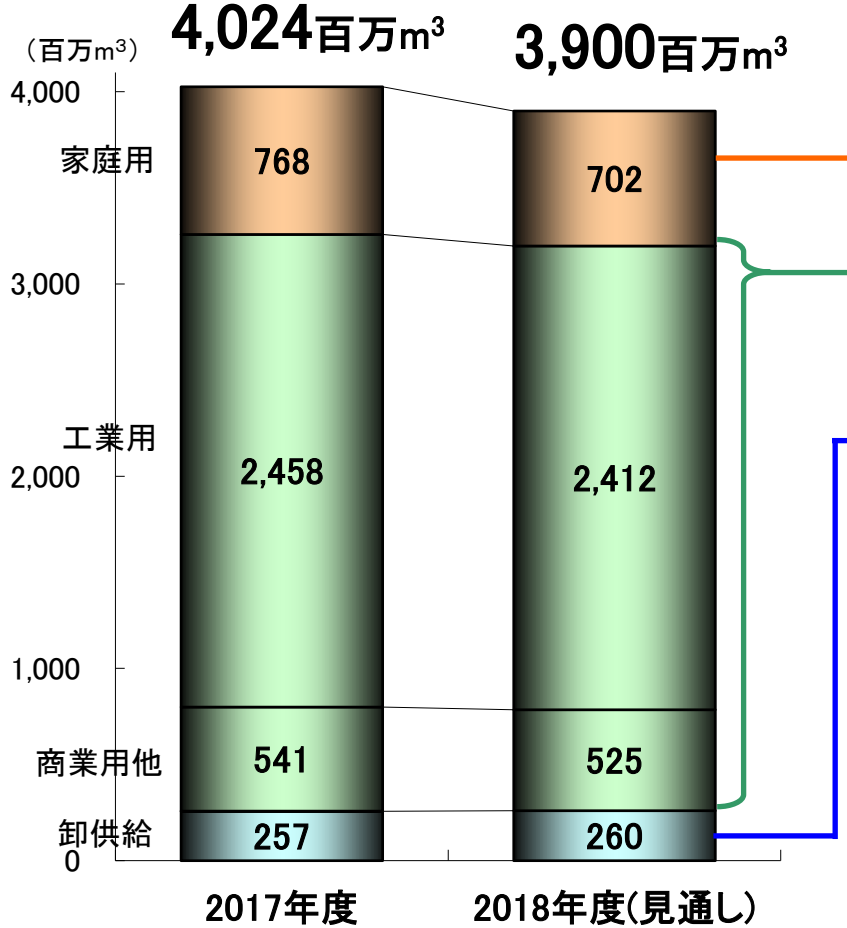
- LPG販売量は同0．2%増の466千トンを見込む
（前回見通しから変更なし）

- 1月以降の原油価格65ドル/バレル、
為替レート110円/ドルの前提で、
売上高は対前年8．0%増の4，630億円、
経常利益は同16．7%減の210億円を見込む

- 前回見通しからの変更点は、以下の通り
・売 上 高 ：4，680億円 → 4，630億円（△50億円）

（2）お客さま数・販売量（通期見通し）

取　付
メーター数　2,463千件 → 2,482千件（＋0.8%）



平均気温	16.0℃	16.9℃	＋0.9℃

都市ガス　△124百万m³（△3．1%）

- 家 庭 用　△66百万m³（△8．5%）
- 業 務 用　△62百万m³（△2．1%）
- 卸 供 給　＋ 4百万m³（＋1．4%）

ＬＰＧ

お客さま数 ※ 494千件：＋4千件（＋0．8%）

※ 配送受託件数含む

販　売　量　466千トン：＋1千トン（＋0．2%）

電　気

お客さま数　180千件：＋93千件

(3)販売量見通しの前回比較

■ 第3四半期までの対計画の進捗を反映し、全体で44百万㎥を下方修正

単位：百万㎥

	今回見通し	前回見通し（10/30時点）	増減
家庭用	702 <△8.5%>	731 <△4.8%>	△ 29
業務用	2,937 <△2.1%>	2,964 <△1.2%>	△ 27
卸供給	260 <＋1.4%>	249 <△3.2%>	＋ 12
計	3,900 <△3.1%>	3,944 <△2.0%>	△ 44

（注）下段の＜＞内は対前年増減率

(4)2018年度の通期見通し

単位:億円

	2018年度見通し	2017年度	増減	増減率
ガス販売量（百万m³）	3,900	4,024	△124	△ 3.1%
売上高	4,630	4,288	341	8.0%
経常利益	210	252	△ 42	△16.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	150	180	△ 30	△16.8%
設備投資額	365	396	△ 31	△ 7.9%
減価償却費	365	359	5	1.5%

【前提】

（単位:$/bbl、円/$）

	2018年度※	2017年度(実績)	増減
原油価格	72.5	57.0	15.5
為替レート	110.9	110.9	0.0

※1-3月の原油価格 65ﾄﾞﾙ/ﾊﾞﾚﾙ、為替レート 110円/ﾄﾞﾙ

【感応度(年間)】

	原材料費	粗利益
原油価格 1$/bbl	22億円	6億円
為替レート 1円/$	15億円	4億円

(5)経常利益 増減要因(通期見通し)

◆対前年

経常利益(252億円⇒210億円)	**△ 42億円**

- ガス販売量の影響　△ 50億円
- スライドタイムラグの影響　△ 40億円
  (2017年度　△60億円 ⇒ 2018年度　△100億円)
- 固定費の減少等の影響　＋ 47億円

(6)経常利益 増減要因(通期見通し)

◆対計画(2Q決算時)

経常利益(210億円⇒210億円)　±　0億円

- ガス販売量の影響　△ 20億円
- スライドタイムラグの影響　±　0億円
  (前回見通し△100億円 ⇒ 今回見通し△100億円)
- 固定費の減少等の影響　＋ 20億円

(7)見通しの前回比較

単位:億円

	今回見通し	前回見通し（10/30時点）	増減
ガス販売量（百万m³）	3,900	3,944	△44
売上高	4,630	4,680	△50
経常利益	210	210	± 0
親会社株主に帰属する当期純利益	150	150	± 0

【前提】

	今回見通し	前回見通し	増減
原油価格（$/bbl）	1-3月　65	下期　75	△10
為替レート（円/$）	1-3月　110	下期　110	±0

＜参考＞中期経営計画目標の進捗

		2017年度	2018年度（見通し）	増加率	中計目標 2018年度
天然ガス	お客さま数※1	246万件	248万件	+0.8%	246万件
	販売量※2	41億m^3	40億m^3	△3.0%	45億m^3
LPG	お客さま数※3	49万件	49万件	+0.8%	48万件
	販売量	47万トン	47万トン	+0.2%	47万トン

※1 取付メーター数　※2 LNG販売分を含む　※3 配送受託件数を含む

		2017年度	2018年度（見通し）	中計目標 2018年度
営業キャッシュフロー	単年	570億円	520億円	580億円
	累計※	—	3,200億円	2,600億円以上
D／Eレシオ		0.3	0.3程度	1.0以下
ROA		3.4%	3%程度	3%程度

※累計期間：2014～2018年度（5年間）